

就 任 あ い さ つ

公益財団法人 長野県消防協会会長 福澤 賢治

向暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より長野県消防協会の事業運営に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、県下2万9千有余名の消防団員の皆様には、生業のかたわら火災、災害対応や各種訓練に取り組まれていることに心から敬意を表します。

この度、令和6年5月29日の理事会において長野県消防協会会長に選任されました福澤賢治です。就任に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

これまで多くの諸先輩方が築き上げてきた歴史と伝統を誇る当協会の会長の大役を考えたとき、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。重責を全うすべく副会長をはじめ理事、監事の皆様の御協力を賜りながら、全力で務めてまいりますので宜しくお願いいたします。

能登半島地震をはじめとした地震の頻発、気候変動の影響を受けての豪雨、土砂災害、大規模な山火事など、最近国内、県内各地で災害が相次いでいます。また市街地等での住宅火災も後を絶たず、不幸にして犠牲者も出ています。住民の皆さんの防災意識も高まっており、地域に密着して住民の生命、財産を守り、郷土を守る消防団の重要度も増しています。一方で、消防団活動への理解促進と団員の募集、団員の待遇改善や女性消防団員の活性化、訓練のあり方など課題も多くなっております。

長野県消防協会といたしましては、「防火思想の普及高揚」として、広報紙やホームページ、SNSの活用による事業の報告、PRをはじめ、女性消防団員の活性化推進、「消防技術研修教育」として、県消防ポンプ操法大会・県消防ラッパ吹奏大会の開催、副団長講習会、消防団長・事務主任研修大会、女性消防団員活性化大会、指導員研修会などの大会、各種研修会の開催、その他「表彰」、「消防団員の共済・福利厚生」な

どの事業に取り組めます。

終りに、「不易流行—不変の中の変化—」について記します。「不易流行」とは、いつまでも変わらないものの中に、新しい変化を取り入れることを指す言葉です。本来の消防団の存在意義を大切にしつつ、時代に即した活動に形を変え挑戦し続ける、「不易流行」が消防団にも必要と思います。県下消防団が今後も変わる事ない「地域に根差した魅力ある消防団」であるために、県消防協会は団員の士気の向上、技術の向上と知識の習得、交流の推進を図り、地域防災力の一層の充実、強化のため支援してまいります。

結びになりますが、長い間当協会の発展に御尽力をいただき、先日任期を終えられた評議員の皆様、上條前会長・前副会長・前理事監事の皆様の益々の御発展を御祈念申し上げます、就任のあいさつといたします。